

竹の子川柳会

げんかんのミントが香るすつきりだ

小四 山田 清也

すつきりと並んだ本棚取りやすい

小五 石崎 海士

悩みごと解決したらスッキリだ

中二 清原 瑠依

かぎかけておでかけしたら安心だ

小四 小原 麗羽

かぎをもち未来のとびらあけ進む

小五 梶野 海斗

ぼくをさす明るい光まどの外

小六 梶野 峰士

大切な宝箱にはかぎかける

小六 瀧本ななみ

練習をがんばることがカギになる

中二 吉良ちひろ

未来へとつながるカギは君の中

高一 宮崎 京

部屋の中明るくするよLED

中二 菅元 聖羅

してはダメ心のトビラ閉ざすカギ

高三 山口はると

いやされる明るい声で鳴くねこに

高二 榎 美咲

明るいとなぜかまばたき多くなる

高三 渋谷 裕紀

つらくても笑い明るい今日にする

高三 榎 美琴

太陽を神と崇拝頭垂れ

水野すみこ

太陽とひまわりゴッホの絵がはじけ

渡辺 光男

是非一度富士のお山で御来光

山本 雅之

儉約し揃えた和服寝たまんま

宇津本アヤ子

節約の家系も祖父で切れました

加藤 桂子

節約を守る幸せ老いの坂

米子 達雄

節約とケチはいつでも紙一重

伊勢本 恵

卒寿来て五年日記を買い試みる

若宮 賢敬

喜怒哀楽じつと抱えている日記

男武志津江

日記帳生きたあかしと書きつづけ

松本たつこ

日記帳頭脳回転惚け封じ

宇都宮 忍

ファールブルの根気へ虫の無頓着

宮川 柳酔

連用日記釣り情報が書いてある

川添 忠昭

帰路急ぐ夕餉の匂い腹の虫

渡辺 照子

カメ虫もカップル大事放さない

熊本 忠真

ひよし川柳会

鬼北の足跡を辿る…〔鬼北の霊山 第4回〕

鬼北の霊山「ヒキノ岩とタモト岩」

森の三角ぼうしに降臨した「鬼王丸」。この名の由来である「鬼王」が造った城が「鬼ヶ城」、その北にあるから古来この地域は「鬼北地域」と呼ばれてきた。というところは、みなさんご存知だろうか。また、この「鬼王」が、等妙寺建立にまつわる伝説に登場することを伝え聞いたことがあるという方は多いのではないだろうか。

では、「ヒキノ岩」と「タモト岩」という話をご存知でしょうか？
理玉和尚が奈良山の山中で等妙寺を建立する場所を探していると、いつしか鬼ヶ城まで登りついた。すると、身の丈六尺以上もある大男が現れ、「我は鬼王と申す。何用か」と尋ねられたので和尚がいきさつを話すと、「ならば」と大男は傍らにあった大岩を投げ飛ばし、「落ちたところに寺を建てよ」と伝え消えた。和尚は早速山を降りて岩を探すと、岩には片手の指跡がついていた。その周辺は大小の谷や平地があり、要望通りの場所だったので寺建立の勝地とした。岩の形が力エルに似ていたので「ヒキノ岩」と名付けた。というものです。この岩は、等妙寺の奥にありましたが、昭和初期、林道をつける際に壊されたそうです。

もうひとつの話は、鬼王が投げ飛ばすための岩を運んでいたところ、袂から岩が転がり落ちた。それが「タモト岩」というものです。これは昔、奈良中に正連寺というお寺がありましたが、その山の奥にある正連寺駄場というところに今もありません（※写真参照）。ちなみに、投げた場所は「鬼王峠」です。
この岩は、山岳霊場によくある霊岩という神様の宿る岩です。修験者はこうした岩に神を降ろしてまつり、行場や礼拝場としました。
鬼王伝説でつながる2つの岩と寺。これらも奈良山の山岳信仰に深く関わる霊場遺跡と考えられるのです。



正連寺駄場にあるタモト岩